

工場労働職工ハ(分工場ノ職工ハ全)増加ノ模倣ナリ分工場ハ午三時中工  
 場ノ三時手閉鎖セリ 途チテハ僕牛部集合職工田中梅次郎外  
 一名ハ午三時頃出勤簿約六百通ヲ本社ニ提出シ給料ノ精算方  
 ヲ要求シ来リシモ在日本人ニ於テ果シテ給料ヲ受取リタルヤ否ヤニ  
 手紛議ヲ生スル虞アリテ以テ更ニ名簿ヲ記載シ提出スル様申  
 渡シ先引取ラシメタリ

(六月十二日)

工場側ノ暑業ニ各職工ニ対シ就業中以來ヨリ配付シ其ノ去就ヲ確  
 ムルノ方策ヲ採リ表々十三日朝迄ノ申込者数本分工場ヲ通シテ五百  
 五十五名ニ達シ工場主側ノ観測ニ依リハ其ノ申込ヲ躊躇セムニ就職希  
 望ヲ有スルモノ約三百五十五名アリト云フ 是等ハ多ク他ノ業種ニ  
 合及道官等ノ畏怖シテ態度ノ鮮明ヲ降ケツアリテ此朝出  
 勤セムル亦工場七十七名方工場五十四名計二百四十一名(時前社)ナリ

市部在任職工約千五百名ハ十三日朝木津川原空地ニ多ク集シ社寺多ク持  
 ト称シテ朝十時ヨリ放シ支導トシテ悉ク散ル由本工場前ヲ経テ人股  
 神社一松島天神社、茂住吉神社巡拜ノ後正午頃天王寺公園ニ到リ  
 一方大和川堤ニ集合セル市部在任職工約五百名ノ一隊ハ谷津神社ニ詣テ  
 阿倍野神社ヲ拜シ更ニ天王寺ニ到リ小鯉池公園ニ入り名々中込  
 落位ニ着アリテ約三百名減少シ先着ノ市部職工團ト相合セリ  
 以上兩部隊ヲ行進中時々必衝歌ヲ高唱スル等ノことアリシモ概シテ  
 静粛ニシテ朝来ノ徒歩運動ニ疲タラ感シ公園ニ入り名々ノシラセテ分  
 ヲウレ上内ニ集團シ指揮者松林直ヲノ挨拶アリテ外ニ三ノ應援進退アリ  
 一先ツ解散シ夕刻天王寺公園至堂ニ於ケル演説会ニ赴ケリ  
 阿倍野職工ノ大部今や倦怠ノ色アリ幹部中ニ於テモ才三者ノ調停  
 ヲ望ム如キ如ク時々決ス向アリテ神社ヲ参拜ノ如キモ吉田ノ示威運動  
 ヲ之思味セテ外面職工ノ離散ヲ惧シ之ヲ防衛手段ニ出テタルカ如シ